

ゆんゆん×めぐみん



この貧乏しい
乳房に爆乳を！



ストーリーページ134枚
絵差分138枚

全272枚



ゆんゆん!



え?
なに!?

新たなる『爆裂魔法』の
実験台にしてやります

こころまぞく
紅魔族、

生まれつき魔法使いとして
高い才能を持つ種族。



女性の紅魔族は、高い魔力の影響か一部を除けば
圧倒的な美貌を持っており、その発育は他の種族を凌駕する。

バストとヒップは100cm越えが当たり前、
ウエストはやせ過ぎない程度に引き締まっている。

グラマラスなスタイルが男の目を引く、少女の名は「ゆんゆん」

いわゆるボンツキュッボンツの出るところは出て締まるところは締まった、いかにも男が好きそうな体。容姿端麗なだけではない、彼女は紅魔族きっての天才、しかし天才すぎる故に高嶺の花なのだ。



その結果、ゆんゆんにはまともな交友関係と
言えるような相手がいなかった。

いわゆる《ぼっち》体質だ。

一見痴女に見える、ゆんゆんの装い。
これもすべて「お友達を作るため」だ。

しかし、どれもズレていた。

胸元を開ければ
人が寄ってくる耳にした。

パンツも穿かずにレース状の透けた
スカートを着けば人の目を釘付けにできる。

そういつた眉唾物の情報を鵜呑みにし、
むしろに近寄り難い様相になってしまった。

ひたひたっ!

おっおっ

おっおっ

おっおっ



は?
めぐみん!?

はたはた!

はたはた!

はたはた!



大きな帽子を被りマントを羽織った
如何にも《魔女》という出で立ちの少女、

名は「めぐみん」



エクスプロージョン
爆裂魔法の使い手にしてその才能は
「ゆんゆん」に勝るとも劣らない。

貧相な胸とは対極的な大きなお尻が特徴。
悪い言い方をすれば下半身デブ、良い言い方をすれば超安産型。
ヒップは100cmを優に超える。


肉付きがいいだけではない、
骨盤から大きいガツシリとした下半身。

骨格からしての本当の意味での安産型だ。
そのお尻を支える脚も太く、いかにも丈夫そうだが、太いが故に短く見える。

上半身はもやし、下半身はブタ。

めぐみんは、この凸凹な体にコンプレックスを抱いていた。
すべてはこの貧相な胸が悪いのだと。





よりによってめぐみんの周囲の女性は
皆、胸が豊満であった。

それがめぐみんのコンプレックスを
より加速させた。



は？

私はいいに
この貧相な胸から
卒業できるのです！

あ
あ
あ
あ
あ
あ

セクスプローション
《爆乳魔法》!!

え!?

なにになになに!?





さあ 見せるのです！

その無駄にデカイ乳を
さらに大きくした姿を！

まじまじと見せなさい！
私の才能の証を！！

てたてた！

?

ケホケホ！

ってあれ？
何よコレ煙だけ？

フクフク...

フクフク...

ゆんゆんの股間には
相応しくない物が生えていた。

それは《男性器》^{ペニス}だった。

夢であってほしいという儂い願い。

しかし、脈拍に合わせて鼓動する感覚は、
ゆんゆん
間違いなく自分の体の一部だ！

めぐみん！ なによコレ——っ！

こんなんじゃ余計に
お友達が作れないじゃないの！！

いいじゃないですか

ゆんゆんはソレが有ろうが
無かろうが万年ぼっちですよ

男性器




じゃ…私はこれで
帰りまゝす

待って！

責任取ってよめぐみん!!
私をこんな体にして！





ちよ!
!?

何すんですか
エロぼっち女!

許さないわよーっ！

放してください！！



こんな体じゃ

ますますぼつちに
なっちゃうじゃない!

知らねーですよ!

強く生きてください!







足が浮いちゃってます！

大きすぎてペニスに
跨ってます…



お…大きい!?!

ぐんぐん

ぐんぐん

ぐんぐん

ぐんぐん

ぐんぐん

ぐんぐん







ゆんゆん？

この穴…に入りたい…!!

めぐみん…
よく見たらすごくエッチなお尻…















は…初めて!
なんてだろう…
凄く嬉しい…

何…?
この感情!



はあ…っ
はあ…っ

い…入れられちゃいました…
初めてだったのに…!



とりあえず
人通りの少ない所に
移動してくださいよ

入れられちゃったものは
もうしよーがないです！

それまではゆんゆんのぼっちセックス：
オナニーに付き合ってくださいよ！

ポロポロ



ヤバイです…
足が浮いてるから結合部に
体重が集中します…っ

乳も無駄にデカイのに
こっちまで無駄にデカイんですね









体をこんなに
痙攣させて…
私のおちんちんで
イッてくれた…♡



う…うるさいですね！
いいから早く人気のない所に…

めぐみん…
また…イッたの？













お腹の中でペニスが
痙攣してます…っ

それにさつきよりも
カタい…っ?!
もしかして…

ゆんゆん…?
どうしたんですか?







射精する気じゃないですね!?

ま…まさか…

多分…その…

わかんないけど…









アッブ!!

アッブ!!

アッブ!!

アッブ!!



ちよ!? ゆんゆん!?
待ってください!

女の子の体はこんなの
耐えられるように出来てませ…っ



めぐみん…
まだまだ出るよお…











おっぱいおっぱい!

おっぱい...
おっぱい...

おっぱい...
おっぱい...



胸が...こんなに大きく!?
それに...母乳まで!?

どどど...
どういふこと
ですかああ!?

おっぱい
おっぱい









は!? セックス?
私はあくまで
豊胸のためです!

おっ!
これはゆんゆんの
オナニーなのですよ!
おっ!



セックスだもん!



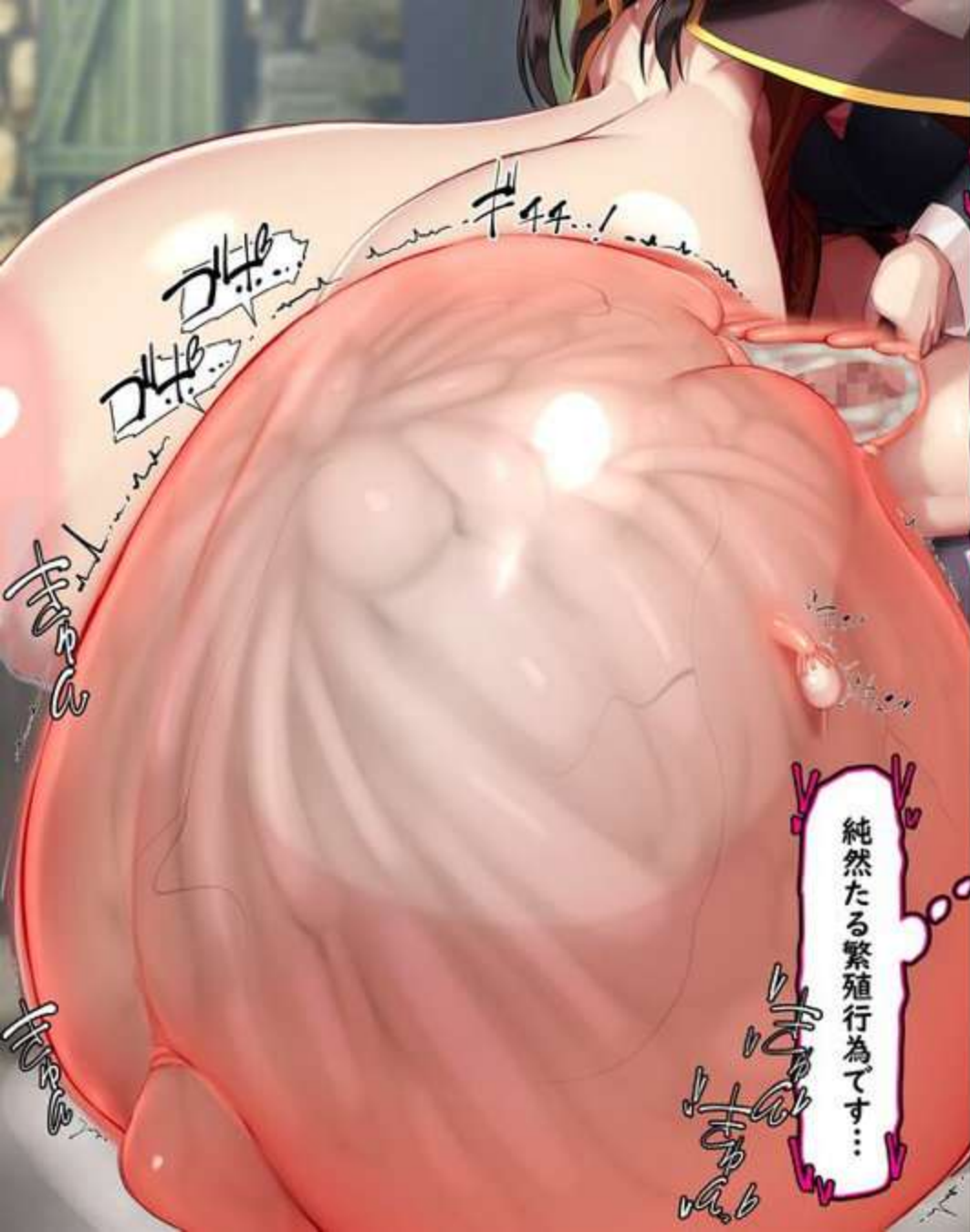












こんなの野性的なセックス…
恋人でも夫婦でもしません…

ゆんゆんのコミュ障っぷりが…
ここまてとは思いませんでした

純然たる繁殖行為です…

お下

Yoroi...



Yoroi...

お...お腹が...っ
重すぎて動けません...

どたどたん!


ぐんぐん!!





お？

こんなところに
チビツ子窃盗犯が転がってるぞ



うへへなにこのお腹…

この前の私より
下品なんじゃない？

な…なんて無様で
醜い姿なんだ…

う…羨ましい!!



ん??
何のこゝろ...

ところでめぐみん
お前俺たちに
謝ることがあるよなあ?

え...
なな...
なんの事ですか...



ちまろろろろろ

アッ
アッ
アッ

アッ
アッ
アッ



一生に一回しか使えないんだ

ゆんゆんちゃんよお
そのチビツ子が

お前さんにかけて《爆乳魔法》なんだが
ちよっと特殊な魔法でな

そんな魔法が
あるんですね…

一生に一回…？

ウンです 普通に
何回も

その魔法の「開発費」が
ちと問題でね

はぁ？

カブ
カブ

カブ
カブ



100万エリスも
かつてるんだ!

え...!?
そんな大金が!

え...!?

そんなことないです!

私...なんてことを...
責任取らないと...!

Akiyama
1/27/2018

Akiyama
1/27/2018



めぐみん!
あなたなんてことを!


カズマの野郎! なに企んで
やがるんですかコイツ!

100万!?
あの魔導書は
たったの1万です!

た...たしかに...自分では買えなかったので
カズマの貯金からちよっと拝借しましたが
そんな大金では.....

カズマ
カズマ

カズマ
カズマ



私たちの全財産が、
これからどうやって
暮らしていけばいいの、

女神なのに住む家
すらなくなっちゃうわ、

くっ！

オークやゴブリン相手に
体を売るしかないのか…
だがそれも悪くない！





はい!
は...はい!

俺たちの全財産は
キミ達にかかっている!!

おっ!
あっ!
あっ!

ア
ッ
ッ!

















うおおお！ 安いな〜！
いいぞお！ こんな無様なストリップショーは
地獄に行っても見れんぞ！



お？ なんだく見世物から
お兄さんや見物料いくらかい？

1000エリスだよお嬢さん
寄ってらっしゃい見てらっしゃい！

は？ あたしのとより
高いんだけどなんて？



よし！
人が集まってきたぞ

へえーなんか
面白そうじゃん

あれ人間か一応…

さわ…
さわ…

さわ…
さわ…



さわ…
さわ

なんだなんだ？
なんだあの
肌色の球体

さわ
さわ
さわ



なるほど...
そうやって稼ぐんですね!

私はむしろ10エリス
ぐらいで扱われないぞ!

ちよつとダクネス
私のとき100エリス
だったんだけど...どう思う?

さわ...
さわ...



こりやあ珍しいな
マジもんのふたなりか!

この2人紅魔族か?
確かに奇行が目立つ種族だが

あ...
あ...
あ...





繁殖...そうか...!
この機を逃したら繁殖の機会なんか
ぼっちのゆんゆんにはないかもしれない...

だから私に...

作る...
赤ちゃん...

今作んなきゃ...!



一生分の子種を
注ぎ込む気なんだ!







女の子の生いだし!!

厚いおろろ!!

おろろ!!

おろろ!!

こいつ女として
産まれてきたこと
忘れてないですか!?



ゆんゆんはオスの本能に目覚めていた。

私：否、俺はこんなに魅力的なメスを随としたんだ！と見せつけるような射精。「このメスは俺の遺伝子で腹を膨らませている」という自慢！

ゆんゆんは女として産まれながら、オスとしての優越感をこれでもかかと享受する！！

オス





一方、めぐみんの中でも
ゆんゆんの評価に変化が起こっていた。

メスは優秀なオスに惹かれるものだ。

自分をイカせまくるペニス。

腹が膨れるほどの射精。

もはや、当初の目的などどうでもよくなっていたが、
巨乳化
皮肉にも今のめぐみんの体は子育てに適した体だった。





じゃあ!
一緒に赤ちゃん
作ろうね♥

はひひっ!!

!!!



それはまるで縄張りの主張。

獣の本能！

「この穴はオレの物だ」と主張するように、
己の分身をめぐみんの膣に叩き込む。
めぐみんに己の形と、遺伝子を刻み込むように。













うおー
すっげー儲かった

え〜！
いくらいくら？

つ…次は私で
やってくれないか！

100万から
先は数えてない！

大儲けじゃん！
すご〜い！！

なら私はタダで
輪されても構わないな！



どうしたチビっ子

お？

幸せが：頭とお腹の中で
「爆裂」しています！
今なら最高の《爆裂魔法》を
撃てそうです！
エクスプロージョン





エクスポロージョン…





え？

おっぱい~~~~~!!

おっぱい~~~~~!!



めぐみん!?

ゆんゆん!

ど…どうしたの!?

「どうした」じゃないですよーっ!

!?

デキちゃったじゃないですか!

ゆんゆんの赤ちゃん!!



責任とってくださいー！

しよ…しよがないわねー！
めぐみんにはお友達…じゃなくて

「ご主人様」の私がないとダメだもんね！

ぼっちじゃなくなったからって
調子に乗らないでくださいー！



ずっと友達が欲しかったゆんゆん。

ついにできた人間関係は友達を超え、
恋人さえ超え、夫婦ですらない。

純粋な生殖本能で繋がった雄と雌の関係。

つが
番이었다!



え？
あ…大きく
なってる

↑
↑
↑
↑

とっさ、んっ!

そうだ！
見てください！
私の「おっぱい」を！



もっとまじまじと見なさい！
母乳だってもうこんなに！

おっぱいも私のほうが上ですからねー！

ゴキゴキ

どたどたっ！

たったっ

たったっ





あ…

わんわん

ぽんぽん

ゆんゆんの事は
一生尻に敷いてやりますよ！
ってなに勃起させてんですかーっ！



ごめん…ちよつと
興奮しちゃった…♡

仕方ないですね〜！
その無駄にデカイ精子工場を
空っぽにしてあげますよ♡

制作：かわはぎ亭





























































































































































































































女の子の生れかた!!

厚めオオッ!!

アッ!!

アッ!!

こいつ女として
産まれてきたこと
忘れてないですか!?























































